

中原議員（民主県政会）

令和7年12月16日
教育長答弁実録
(教育委員会)

(問) 子供の学習環境の整備について

家庭の経済状況等によらず、ひとりも取り残される子供がないよう、小学校低学年段階からの学習のつまずきにどのように対応しているのか、教育長に伺う。

(答)

学習へのつまずきへの対応につきましては、早い段階での把握と、個に応じた指導、さらに、家庭との連携が重要であると認識しております、このため、教育委員会といたしましては、小学校低学年段階からの学習のつまずき等を把握するため、「広島県学びの基盤に関する調査」を開発するとともに、つまずきに応じた具体的な教材や支援事例をホームページに掲載し、全県での活用を促しているところでございます。

また、調査結果を個別の指導改善につなげるため、個に応じた手立てを講じた授業を参観し、児童の理解の深まりを実感できる教員向けの研修会を実施しているほか、必要に応じて、学校へ指導主事を派遣しているところでございます。

加えまして、学校での学習状況につきまして、家庭との丁寧な連携を図るよう促すとともに、スクールソーシャルワーカーなどの専門職員が関係機関との連携も含めて働きかけるなどの支援を通して、家庭の経済状況等により子供が取り残されることのないよう、取組を進めているところでございます。